

# THE SAISON FOUNDATION

ANNUAL REPORT 1996

財団法人セゾン文化財団  
1996年度 事業報告書



1996年4月—1997年3月  
April 1996 to March 1997



財団法人 セゾン文化財団

1996年度 事業報告

1996年4月—1997年3月

---

**THE SAISON FOUNDATION**

ANNUAL REPORT 1996

April 1996 to March 1997



GEKIDAN KAITAISHA  
"Tokyo Ghetto -Hard Core"-  
photo by Katsu Miyauchi

## 目次

ごあいさつ	4
事業概要	6
助成事業	9
現代演劇・舞踊助成	10
特別助成	24
自主製作事業	27
事業日誌	31
会計報告	32
役員・評議員	34

## TABLE OF CONTENTS

PREFACE	5
PROGRAM OUTLINE	7
GRANT PROGRAMS	9
Contemporary Theater and Dance Grants	10
Special Project Support Grants	24
SPONSORSHIP PROGRAMS	27
REVIEW OF ACTIVITIES	31
FINANCIAL REPORT	32
BOARD OF DIRECTORS AND BOARD OF TRUSTEES	35

## ごあいさつ

現在わが国が、戦後の高度経済成長を支えてきた日本型システムの変革という重い課題に直面していることは、誰しもが認めるところでありましょう。来るべき新しい社会の姿を構想するとき、旧弊の是正や、国際基準に合致する公正なシステムづくりに向けた努力は、もとより避けて通ることはできません。

しかし同時に、効率性ばかりが追求される中でわが国が喪ってきたものについても、私達はこの機会に目を向けてみる必要がありそうに思われます。私達が将来、真の豊かさを獲得していくための示唆がそのなかに見いだせるのではないかとおもいます。豊かさとは、市場主義を貫徹することのみでは得難いものである筈です。

その意味では、効率性や市場主義とは相容れない場所にある精神文化を、新しい社会の中でどのように継承し育んでいくかは、私達が今後真剣に模索していくべき問題であると言えましょう。そして、私どもの財団が果たしうる社会的役割もまた、そこにおいて試されるものに違いありません。

おかげさまをもちまして、セゾン文化財団は満10年を迎えることができました。今後も芸術の振興、国際文化交流の推進に努力して参りますので、皆様にはいっそんのご理解とご支援をお願い申し上げます。

1997年10月

理事長  
堤 清二

## Preface

It is acknowledged by many that Japan now confronts an inevitable task of reforming its social system that had once enabled rapid economic growth. Efforts should be made to create a new impartial system that will amend the outdated system and meet present international standards.

At the same time, one must examine what we have lost over these years of pursuit for efficiency. It is through these efforts that we may find insights that would lead us to culturally rich lives. Upholding the ideas and virtues of the market economy alone will not enrich our lives.

Likewise, the issue of how culture, which is an area that seems incompatible with the concepts of efficiency and market economy, should be inherited and cultivated will require further discussion over the next several years. The future social role of the Saison Foundation will naturally be explored in the course of this argument.

The Saison Foundation celebrates its tenth anniversary this year and we will continue to devote ourselves to artistic and international cultural exchange in Japan. Your continuous understanding and support will be greatly appreciated.

October 1997

**Seiji Tsutsumi**  
Chairman

## 助成事業

### 現代演劇・舞踊助成

現代演劇、現代舞踊の領域における活動を対象に公募し、助成およびスタジオ提供を行う。

### A 創造環境整備プログラム

#### A-1 創造環境整備活動

演劇・舞踊界のシステム改善、人材育成、ネットワークの構築など芸術創造を支える環境の整備を目的とした調査・研究、ワークショップ、会議、シンポジウム等の企画に対し、企画経費の一部を助成(50～100万円)するとともに会場としてスタジオを提供する(スタジオ提供のみの場合あり)。

#### 【研究助成】

研究については以下のテーマを重視する。

- I. 我が国の現代演劇・現代舞踊界を活性化させるための政策提言(2年間研究、300万円)
- II. ケーススタディ：舞台芸術の質的向上/革新に対してどのような支援策が過去に有効であったか(1年間研究、100万円)
- III. ケーススタディ：世界をリードする現代演劇・現代舞踊界の才能はどうやって育まれたか(1年間研究、100万円)

#### A-2 アーツマネジメント留学・研修

国際的視野を持ったアーツマネジャーの養成、日本でのアーツマネジメント教育の普及を目的とした海外への留学・研修に対し、100万円を上限に留学資金の一部を助成する。対象は、芸術経営/運営の専門家として3年以上の職歴があり、海外の大学もしくはそれに準ずる高等専門機関への3ヶ月以上の留学が内定している者。

#### 【コロンビア大学フェローシップ】

米国コロンビア大学ティーチャーズカレッジ(大学院)アーツアドミニストレーションプログラムへ1年間派遣する。対象は、芸術経営/運営の専門家として3年以上の職歴、同大学院の修士課程を履修する能力・語学力があり、帰国後に留学の成果を生かし国内の演劇・舞踊の振興に寄与する意欲と長期的展望を有する者。当財団は大学内に国際奨学生受け入れのための基金を設置、大学から学費、生活費、住居費を含む奨学金が支給されるほか、準備金として100万円を支給。

### B 芸術創造プログラム

#### B-1 芸術創造活動Ⅰ

演劇界・舞踊界での活躍が期待される若手の芸術家/芸術団体に対し、経常費を含む年間の活動経費の一部を助成するとともに希望者にはス

タジオを提供する。原則年400万円を3年間継続助成。対象は、申請時点で過去3回以上の公演実績があり、活動歴が15年未満の個人/団体。ただし、個人の場合は将来的に団体の設立を目標としていること、プロデュース団体の場合は中心となる芸術家(演出家、脚本家、振付家)が固定していることを前提とする。

#### B-2 芸術創造活動Ⅱ

国際的な活躍が期待される芸術家/芸術団体に対し、経常費を含む年間の活動経費の一部を助成するとともに希望者にはスタジオを提供する。原則年800万円を3年間継続助成。対象は、「芸術創造活動Ⅰ」の助成期間を終了した者に限定。ただし、1998年度までは「芸術創造活動Ⅰ」の申請者より選考する。

### C 国際交流プログラム

#### C-1 国際交流公演活動

国内の芸術家/芸術団体の海外公演、海外の芸術家/芸術団体の招聘公演に対し、公演経費の一部を助成(100～300万円)するとともに希望者にはスタジオを提供する。対象は、公演の主体となる芸術家/芸術団体、または公演をプロデュース(マネジメント)する個人/団体。ただし、招聘公演の場合は日本側の受け入れ先が確定していることを条件とする。

#### C-2 国際共同創造活動

国内外の芸術家による共同創造公演やその過程で行われるワークショップ等の企画に対し、企画経費の一部を助成(100～500万円)するとともに希望者にはスタジオを提供する。対象は、企画の主体となる芸術家/芸術団体、または企画をプロデュース(マネジメント)する個人/団体。

### 特別助成

当財団の理事および評議員から提出された案件の中から採択する非公募プログラム。既存の芸術・文化・学術領域や国家の枠を超えた創造活動、学術交流活動に対し助成する。

## 自主製作事業

自主製作事業として、演劇の招聘公演やシンポジウム、ワークショップ、セミナーなどを主催する。

# Program Outline

## GRANT PROGRAMS

### Contemporary Theater and Dance Grants

The Saison Foundation awards grants and/or provides the Foundation's rehearsal studio (Morishita Studio) space for the following activities in the fields of contemporary theater and dance.

#### A. Creative Environment Improvement Programs

##### A-1. Creative Environment Improvement Program

Grants are made and/or rehearsal studio space are provided to various activities concerning contemporary Japanese theater and dance such as research, study, publication, human resource development, conferences, symposiums, etc. Range of grants: ¥ 500,000 – ¥ 1,000,000.

##### [Commissioned Research Project]

The Foundation encourages the following research projects:

- I. Policy proposals to enhance the contemporary theater and dance environment in Japan (¥ 3,000,000 for a two-year research project)
- II. Case studies of effective support policies in the history of performing arts (¥ 1,000,000 for a one-year research project)
- III. Case studies of how the talents of leading artists in the fields of contemporary theater and dance were developed (¥ 1,000,000 for a one-year research project)

##### A-2. Arts Management Study Program

Grants are made to professional arts managers/administrators in Japan who wish to study abroad at universities and/or other academic/professional institutions. Range of grants: ¥ 1,000,000 maximum.

##### [Scholarship at Teachers College, Columbia University]

A professional arts manager/administrator selected by the Foundation will be sent for a year to the Program in Arts Administration at Teachers College, Columbia University in New York. Scholarship money including tuition fees and living expenses will be provided by the University from the Foundation's scholarship fund.

#### B. Creative Process Improvement Programs

##### B-1. Administrative Support Program I

Grants are made to promising Japanese theater and dance companies with a history of less than fifteen years. Grants of ¥ 4,000,000 per year are awarded for three consecutive years with no usage restriction. Opportunities to rent Morishita Studio are provided upon request.

##### B-2. Administrative Support Program II

Grantees are selected among the companies who have completed the B-1 Program. Grants of ¥ 8,000,000 per year are awarded for

another three years. Studio rental opportunities are also available.

### C. International Programs

#### C-1. International Performance Program

Grants are made to performances held abroad by Japanese artists and companies, and to domestic performances by visiting foreign artists and companies. Range of grants: ¥ 1,000,000 – ¥ 3,000,000. Studio rental opportunities are also available.

#### C-2. International Collaboration Program

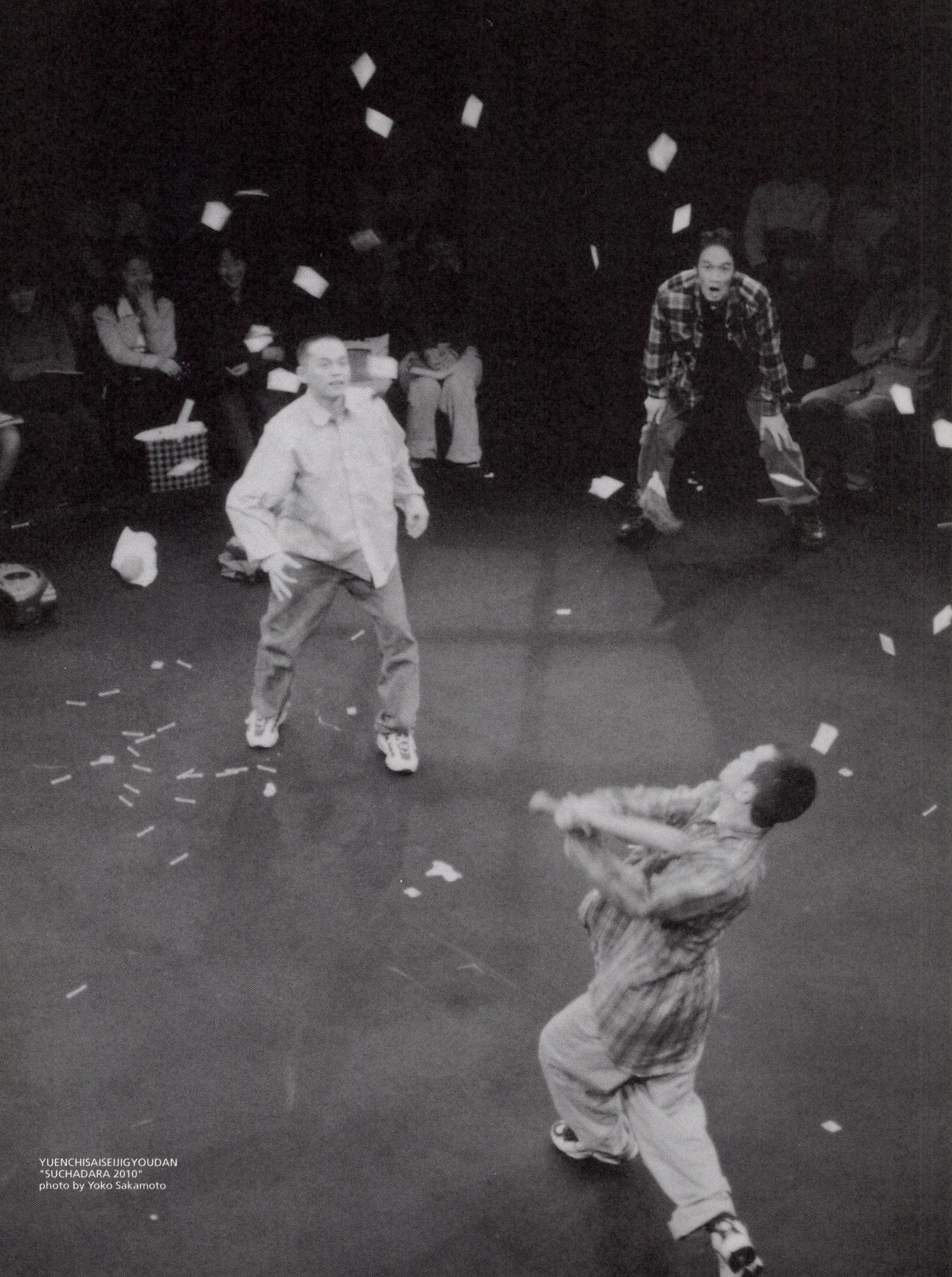
Grants are made to international collaborative activities, such as performances and workshops, with Japanese theater and dance artists and companies. Range of grants: ¥ 1,000,000 – ¥ 5,000,000. Studio rental opportunities are also available.

### Special Project Support Grants

The Saison Foundation provides financial support to cultural activities outside the fields of contemporary theater and dance. The objective of the grants is to support various activities including creative and academic exchanges which transcend the conventional frameworks of arts, culture, academic discipline and nationality. Grants are awarded to organizations and/or individuals recommended by the Board of Directors and the Board of Trustees.

## SPONSORSHIP PROGRAMS

The Saison Foundation sponsors various international performances, symposiums and workshops.



YUENCHISAISEIJIGYODAN  
"SUCHADARA 2010"  
photo by Yoko Sakamoto

助成事業

---

GRANT PROGRAMS

# 現代演劇・舞踊助成 Contemporary Theater and Dance Grants

助成対象43件 / 助成総額110,500,000円  
43 Grantees/ Grants total: ¥ 110,500,000

## 基本的な考え方

今年度より、A 創造環境整備プログラム、B 芸術創造プログラム、C 國際交流プログラムの3本の柱立てに沿って助成プログラムを再編成した。このうちBプログラムは、過去4年度にわたり「年間活動助成」という形でテス特朗を行ってきた、芸術団体に対する複数年の運営助成プログラムを、団体のキャリア別に2段階に分けて拡充したものである。今後は本プログラムの枠内で、ひとつの団体につき原則として最短3年間、最長で6年間の助成を行うこととし、日本国内における個別の公演には助成しないこととした。

同時に、従来の「資金助成」と「スタジオ助成」は一本化し、当財団の演劇専用稽古場である森下スタジオは、上記各プログラムの助成対象団体に対して優先的に提供することとした。これにより、助成件数そのものは減少するものの、当財団がかねてより指向していた「長期的で密度の濃い助成」を実現していくための体制が整ったといえる。

また当財団では、以上のような多年度にわたるプログラムの充実にともなって、助成活動の評価(evaluation)をよりシステムティックな形で行うこととした。芸術活動およびその支援活動の客観的評価には多くの困難が伴うため、わが国ではこの分野における評価の先行事例は皆無に等しい。しかし、助成の成果をさまざまな角度から検証しようとするこのような試みは、財団と助成対象団体の双方にとって、今後の活動のあるべき方向性を決定し、また広く社会に対して説明責任を果たしていく上で、有益であるばかりか、必須であるとさえいえる。アプローチやメソッドについては当面試行錯誤が続くであろうが、助成対象団体の協力を得ながら研究を深めていきたい。

このほか、Aプログラムにおいては新たに、特定のテーマに関する研究

を公募し助成を行うこととした。本年度は、わが国の現代演劇・舞踊界を活性化するための政策提言、および政策立案の基礎となるべき2種類の研究テーマを指定した。近年、官民による芸術支援の規模が急速に拡大してきたわが国であるが、真に有効な支援政策のありかたについては、体系立った研究や対案作りなどの試みが未だ不活発なのが現状である。その意味でこれらの問題は、いま敢えて民間財団が取り組むべきテーマのひとつといえるであろう。この成果は、当財団のプログラム策定においても、貴重なリソースとして活用したいと考えである。

以上は助成プログラムの主な変更点であるが、助成財団としてなじうる対象分野への貢献は、助成金の交付以外にも様々な手法が考えられる。たとえば助成財団がヒトや情報の結節点に位置していることに着目したとき、芸術団体や関係機関への有益な情報の提供という面でも果たしうる役割があることに気づく。そこで当財団では今年度より、ニュースレター『viewpoint』の発刊、および芸術団体のアドミニストレーターを対象とした「制作実践セミナー」のシリーズ化を通じ、助成対象となった方々の経験・ノウハウ・研究成果の共有化を図ると同時に、オープンな議論の場を提供していくこととした。

演劇・舞踊活動への支援状況をみると、今年度は、文化庁による「アーツプラン21」や、各都道府県によるワークショップ活動への取り組みなど、とくに政府・自治体のプログラムが厚みを増した年であった。一方で民間財団は、引き続き低金利による収入の減少に苦しんでいるのが実状である。当財団としてはこのようななかで、独自の問題意識に特化したプログラムに資源を集中し、また同時に、助成の効果を高めるための事後的なケアを重視することで、活動のインパクトの維持を図っていきたいと考えている。

## 1996年度現代演劇・舞踊助成の概況 (I) Contemporary Theater and Dance Grants, 1996 (I)

プログラム programs	A 創造環境整備プログラム CREATIVE ENVIRONMENT IMPROVEMENT PROGRAMS		B 芸術創造プログラム CREATIVE PROCESS IMPROVEMENT PROGRAMS		C 國際交流プログラム INTERNATIONAL PROGRAMS		合計 total
	A-1 創造環境整備活動 Creative Environment Improvement Program	A-2 アーツマネジメント留学・研修 Arts Management Study Program	B-1 芸術創造活動 I Administrative Support Program I	B-1 芸術創造活動 II Administrative Support Program II	C-1 国際交流公演活動 International Performance Program	C-1 国際共同創造活動 International Collaboration Program	
申請件数 number of applications	51	5	78	4	40	29	207
助成件数 number of grants made	18	2	3	6	7	7	43
助成金額(¥) grants in yen	18,000,000	7,500,000	12,000,000	52,000,000	9,500,000	11,500,000	110,500,000

## Principles

This year, the Grant Programs were recategorized into three areas; A) Creative Environment Improvement Programs, B) Creative Process Improvement Programs and C) International Programs. The B programs are a result of expanding the year-long Administrative Support Program, which had been carried out on a trial basis for the past four fiscal years. The new program consists of two sub-programs which enables the Saison Foundation to support artists and/or organizations for a minimum of three years to a maximum of six years. Performances within Japan will not be subjects of grants under this program.

At the same time, the previous Grants Program and Studio Rental Program were consolidated into one, giving grantees of the three new grant program areas the priority to use the Saison Foundation's rehearsal studio for performing arts, the Morishita Studio. These alterations do limit the number of grant recipients but enables us to give longer-term and higher quality support that the Saison Foundation had long been trying to provide.

The Saison Foundation has also decided to carry out a systematic evaluation of its grant activities. There exists very few precedents in Japan concerning evaluation due to difficulties in objective evaluation of artistic activities as well as their support activities. However, efforts such as ours to examine the results of support programs seem beneficial and necessary for both the Saison Foundation and the grantees in order to direct our support activities in the appropriate direction and to fulfill our social role to account for such activities. Approach and method are still to be determined with the cooperation of grantee artists and/or organizations.

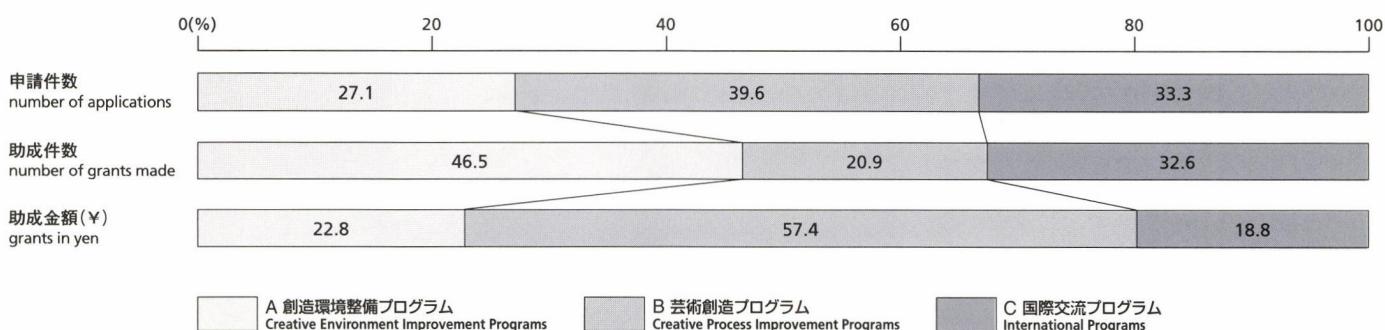
Furthermore, as a new form of support starting this year in the A program, grants were awarded to applicants eager to conduct stud-

ies on subjects specified by the Foundation. For 1996, the specified subjects were: policy proposals to enhance the contemporary theater and dance environment, and case studies to serve basis for policy-making. Although artistic support programs, both public and private, have increased over the recent years in Japan, only a few number of research activiteis have been carried out to determine effective support policy. This is an area where a private foundation can contribute by supporting such research projects. The research results will become also a new resource for the Foundation in determining its support policy.

The Saison Foundation considers that grant programs are not the only method in achieving our goal. Providing information to artistic organizations and related institutions is also important since the Foundation considers itself situated at the crossroads of human network and information. Experiences by our grantees and their knowledge, and the results of their research activities should be made public and discussed openly to be shared by those with interest. Therefore, this year the Foundation started the publication of a newsletter titled "*viewpoint*", and continuous sponsorship of series of lectures called "Arts Management Seminer Sessions," aimed at artistic organization administrators.

Governmental and local government support programs, such as the Agency for Cultural Affairs' "Arts Plan 21" program and various workshops held by prefectural governments, increased this year, while support programs sponsored by private foundations suffered revenue loss due to low interest rates. In midst of difficult times for private foundations with economic limitations, the Saison Foundation hopes to concentrate its resources to areas of our special interest and of in need, and at the same time to emphasize on follow-up programs to ensure productive results from the support programs.

## 1996年度現代演劇・舞踊助成の概況 (II) Contemporary Theater and Dance Grants, 1996 (II)





Aプログラムでは、当財団の数年来のテーマである「国内の舞台芸術のインフラストラクチャー作り」の促進を目的に支援を行っている。

**A-1. 創造環境整備活動**ではこの目的に叶う限り様々な形態の企画をカバーするため、助成対象も調査・研究、シンポジウム、出版などの学術的活動からワークショップ、研修会などの実践的活動まで多岐にわたっているが、いずれも、舞台芸術の将来を見据えた先鋭的な問題意識で独自のアプローチを展開する好企画である。舞踊資源研究所は、山梨県白州町で「身体-夏の学校」を開催するとともにその参加者受け入れのための稽古場施設の自力建設計画に着手、98年の完成に向けて作業を継続中である。60年代以降の日本の演劇ポスターを"貴重な美術・文化財"として国内外に紹介する現代演劇ポスター収集・保存・公開プロジェクトは、東欧および日本各地で展覧会やセミナーを開催する一方、収蔵ポスターのデータベース化にも取り組んだ。韓国舞踊研究会では、数回の韓国訪問により現地の現代舞踊事情を視察調査、森下スタジオにてその成果報告会を開催(97年7月28日)した。この他、ワークショップや養成講座など人材育成に関する企画は、昨年同様最も多く申請があり採択件数も8件と、A-1プログラムの大半を占める結果となった。舞台芸術分野の様々な局面で担い手の確保とレベルアップが課題とされている実状が反映されたものと考えられる。また研究については、文化政策や文化基盤に関する実用的提言や論考、専門家による基礎研究の集積を促す試みとして、本年度よりテーマを特定して募集を行ったところ、例年を大幅に上回る16件もの申請があった。この中から、研究者としてのキャリアと実績、研究体制および実施計画の強固さなどを重視した上で、衛紀生氏(演劇評論家)、河島伸子氏(英ウォーリック大学文化政策研究センター所属)、片山泰輔氏(三和総合研究所研究員)、鴻英良氏(演劇批評)の行う4研究が採択された。各々の研究成果は当財団のニュースレターなどを通じ広く紹介・公開していく予定である。なお、国際演劇評論家協会による『シアターアーツ』発行は、8号をもってその第一期を終了することとなった。演劇批評誌を通じ若手批評家を育成するこの試みに対し、当財団では94年度より継続的に支援

を行ってきた。批評の充実もまた、舞台芸術界の活性化にとっての重要な課題である。後続の優れた企画の登場が待たれる。

**A-2. アーツマネジメント留学・研修**では、豊富な実務経験を持つ佐東範一氏が、ニューヨークの非営利サービス・オーガナイゼーションである「ダンス・シアター・ワークショップ」で研修を行った。また、コロンビア大学フェローシップでは、関西出身の演劇プロデューサー宮井太氏を派遣した。

\* \* \*

The A program aims to promote the construction of infrastructure for the performing arts scene in Japan, which has been one of the Saison Foundation's target goals for the past few years.

The A-1 Creative Environment Improvement Program is designed to support various activities such as survey, research, symposia, publications, workshops and seminars in order to achieve the aim. Grantees of this program are involved in significant activities with unique approaches and with new perspectives on the future of performing arts. The organization called DANCE RESOURCES ON EARTH held a workshop titled "Body Weather School" and started on their own a plan to construct a rehearsal facility to accommodate the participants of the workshop in Yamanashi prefecture. The facility is due to be completed in 1998. THE MODERN THEATRICAL POSTERS COLLECTION PROJECT, which introduces Japanese theatrical posters printed since the 1960s as "a precious artistic and cultural asset," has held exhibitions and seminars in Eastern Europe and in Japan while forming a database of their collection of posters. The KOREAN DANCE PROJECT carefully studied the Korean contemporary dance society through their several visits to Korea, and reported the situation surrounding Korean contemporary dance at Morishita Studio on July 28, 1997. Applications involving workshops and training seminars overwhelmed other applications in number as in last year and eight cases in total were granted support, which made up for the majority of the grantees in the program. This seems to reflect the need to secure well-trained and experienced personnel in various duties belonging the field of performing arts. This year,

research-related applications were specified to those that would make practical proposals in cultural policy and also to those related to projects that would lead to the integration of basic research done by specialists. As a result of the specification of subjects, sixteen applications were received. Among them, four grantees, NORIO EI(theater critic), NOBUKO KAWASHIMA (University of Warwick), TAISUKE KATAYAMA (Sanwa Research Institute), and HIDENAGA OTORI (theater critic), were chosen after evaluating the applicants' past achievements and the content of their research plans. The results of the research projects conducted by the four grantees are scheduled to be made public through the Foundation's newsletter. The first term of publication of the theater magazine, "Theatre Arts," by INTERNATIONAL ASSOCIATION OF THEATER CRITICS was completed with the magazine's eight issue. The Saison Foundation has supported this project since fiscal 1994 to bring up young critics through theater critic magazine, since the cultivation and enhancement of criticism is another area that is essential for activating the artistic world.

In A-2 Arts Management Study Program, NORIKAZU SATO, a former dance company manager with much practical experience, participated in the internship program at Dance Theater Workshop, a non-profit service organization in New York. FUTOSHI MIYAI, a young theater producer from Osaka, participated in the arts administration program at Columbia University.



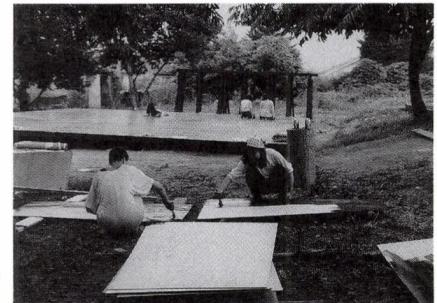
"International Summer School of Dance"



Workshops for Theater Producers



"1996 Theater Forum Japan-Korea"



Maijuku Summer Workshop, facility construction

## A-1

### 芸術創造活動

助成対象18件/助成額18,000,000円

### Creative Environment Improvement Program

18 Grantees/Grants total: ¥ 18,000,000

### SYS企画

#### 「ペーター・ゴス・スタジュ」開催

96年8月12日～17日

東京(森下スタジオ)

スタジオ提供6日間

### SYS

#### Workshops, "Peter Goss Stage"

August 12 - 17, 1996

Tokyo (Morishita Studio)

Studio Rental: 6 days

### 国際舞踊夏期大学

#### 「国際舞踊夏期大学」開催

96年8月5日～16日

東京(日本音楽学校)

1,500,000円

### INTERNATIONAL SUMMER SCHOOL OF DANCE

#### Workshops, "International Summer School of Dance"

August 5 - 16, 1996

Tokyo (Nippon Music School)

¥ 1,500,000

### 日本演出者協会

#### 「日韓演劇人会議'96」開催

96年11月8日～10日

東京(グローブ座Aスタジオ)

1,000,000円

### JAPAN STAGE DIRECTOR ASSOCIATION

### Conference, "1996 Theater Forum Japan-Korea"

November 8 - 10, 1996

Tokyo (The Globe Tokyo)

¥ 1,000,000

### 東京国際舞台芸術フェスティバル実行委員会 「東京国際舞台芸術フェスティバル'97」開催のための準備活動

96年4月1日～97年3月31日

東京

2,000,000円

### TOKYO INTERNATIONAL FESTIVAL OF PERFORMING ARTS EXECUTIVE COMMITTEE

Preparative work for "Tokyo International Festival of Performing Arts '97"

April 1, 1996 - March 31, 1997

Tokyo

¥ 2,000,000

### 喜志哲雄

#### 『Shakespeare in Japan』出版

96年11月～

ロンドン(アスロン出版)

500,000円

### TETSUO KISHI

#### Publication of "Shakespeare in Japan"

November 1996 -

London (The Athlone Press)

¥ 500,000

### 制作向上機構

#### 演劇プロデューサー実践ワークショップ「制作者と舞台の新しい関係を目指して」開催

96年9月3日～10月26日

大阪(大阪国際交流センター、扇町ミュージアム

### スクエア、山西福祉記念会館

500,000円

### ENTERPRISING NETWORKS FOR STAGE ADMINISTRATORS AND PRODUCERS

#### Workshops for Theater Producers, "The New Approach to the Relationship between Administrators and the Stage"

September 3 - October 26, 1996

Osaka (Osaka International House Foundation, Ogimachi Museum Square, Yamanishi Memorial Foundation)

¥ 500,000

### 舞踊資源研究所

#### 舞塾公開ワークショップ「身体 夏の学校」開催、施設自力建設、参加者受入援助

96年7月1日～97年3月31日

山梨(白州町)

1,000,000円

### DANCE RESOURCES ON EARTH

#### Maijuku Summer Workshop, "Body Weather School", facility construction, and support for participants

July 1, 1996 - March 31, 1997

Yamanashi (Hakusyu Town)  
¥ 1,000,000

演劇研究室「座」  
演劇研究室「座」による俳優養成講座  
96年6月1日～97年5月31日  
東京(「座」稽古場)  
1,000,000円  
ACTORS LABORATORY "ZA"  
Actors training program  
June 1, 1996 – May 31, 1997  
Tokyo (ZA studio)  
¥ 1,000,000

和栗由紀夫  
「和栗由紀夫 舞踏ワークショップ」開催  
96年11月2日～4日、97年4月18日～20日  
東京(森下スタジオ)  
スタジオ提供6日間  
YUKIO WAGURI  
Butoh Workshop  
November 2 – 4, 1996 and April 18 – 20, 1997  
Tokyo (Morishita Studio)  
Studio Rental: 6 days

韓国舞踊調査研究会  
韓国現代舞踊の調査研究  
96年6月1日～97年4月30日  
ソウルほか  
1,000,000円  
KOREAN DANCE RESEARCH PROJECT  
Research on Contemporary Dance in Korea  
June 1, 1996 – April 30, 1997  
Seoul  
¥ 1,000,000

現代演劇ポスター収集・保存・公開プロジェクト  
「現代演劇ポスター収集・保存・公開プロジェクト」  
1996年度活動  
96年7月1日～97年3月31日  
東京、盛岡、横浜、ウィーン、ブダペスト、プラハ  
1,000,000円  
THE MODERN THEATRICAL POSTERS  
COLLECTION PROJECT  
"The Modern Theatrical Posters Collection  
Project 1996"  
July 1, 1996 – March 31, 1997  
Tokyo, Morioka, Yokohama, Vienna, Budapest,  
Prague  
¥ 1,000,000



PAPPA TARAHUMARA Workshop

国際演劇評論家協会(A.I.C.T.)  
演劇批評誌『シアターアーツ』第6～8号出版  
96年6月1日～97年5月31日  
2,000,000円  
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF THEATRE  
CRITICS, JAPAN CENTER  
Publication of Theatre Magazine, "Theatre  
Arts" No.6-8  
June 1, 1996 – May 31, 1997  
¥ 2,000,000

パパ・タラフマラ  
公開リハーサル・ワークショップ・シンポジウム「パ  
パ・タラフマラ&ズニ・イコサヘドロン国際共同企  
画、その製作のプロセス」開催  
96年9月5日～24日  
東京(森下スタジオ)  
スタジオ提供20日間  
PAPPA TARAHUMARA  
"Creation & Process", a series of workshops  
and a symposium in collaboration with  
Zuni Icosahedron from Hong Kong  
September 5 – 24, 1996  
Tokyo (Morishita Studio)  
Studio Rental: 20 days

勅使川原三郎+KARAS  
「KARAS WORKSHOP」開催  
96年9月1日～97年8月31日  
東京(スタジオ・カラス)  
2,000,000円  
SABURO TESHIGAWARA + KARAS  
"KARAS WORKSHOP"  
September 1, 1996 – August 31, 1997  
Tokyo (Studio Karas)  
¥ 2,000,000

#### ■研究助成 Commissioned Research Project

I. わが国の現代演劇・現代舞踊界を活性化させ  
るための政策提言  
Policy proposals to enhance the contem  
porary theater and dance environment  
in Japan

衛紀生  
96年6月1日～98年5月31日  
東京、仙台、金沢ほか  
3,000,000円(96年度助成額:1,500,000円)  
NORIO EI  
June 1, 1996 – May 31, 1998  
Tokyo, Sendai, Kanazawa, etc.  
¥ 3,000,000 (¥ 1,500,000 in 1996)

II. 舞台芸術の質的向上／革新に対してどのよう  
な支援策が過去に有効であったか  
Case studies of effective support policies  
in the history of performing arts

河島伸子  
96年6月1日～97年5月31日  
ウォーリック(ウォーリック大学文化政策研究セン  
ター)

1,000,000円  
NOBUKO KAWASHIMA  
June 1, 1996 – May 31, 1997  
Warwick (School of Theatre Studies, University  
of Warwick)  
¥ 1,000,000

片山泰輔  
96年6月1日～97年5月31日  
東京  
1,000,000円  
TAISUKE KATAYAMA  
June 1, 1996 – May 31, 1997  
Tokyo  
¥ 1,000,000

III. 世界をリードする現代演劇・現代舞踊の才能は  
どのようにして育まれたか  
Case studies of how the talents of  
leading artists in the field of contempo  
rary theater and dance were developed

鴻英良  
96年6月1日～97年5月31日  
東京、モスクワほか  
1,000,000円  
HIDENAGA OTORI  
June 1, 1996 – May 31, 1997  
Tokyo, Moscow, etc.  
¥ 1,000,000

---

A-2  
アーツマネジメント留学・研修  
助成対象2件/助成額7,500,000円  
Arts Management Study Program  
2 Grantees/ Grants total: ¥ 7,500,000

佐東範一  
米国ダンス・シアター・ワークショップでの研修  
96年9月1日～97年5月31日  
ニューヨーク(ダンス・シアター・ワークショップ)  
1,000,000円  
NORIKAZU SATO  
Internship at Dance Theater Workshop  
September 1, 1996 – May 31, 1997  
New York (Dance Theater Workshop)  
¥ 1,000,000

■コロンビア大学フェローシップ  
Scholarship at Teachers College, Columbia  
University

宮井太  
96年9月～97年6月  
ニューヨーク(コロンビア大学ティーチャーズカ  
レッジ)  
6,500,000円  
FUTOSHI MIYAI  
September, 1996 – June, 1997  
New York (Program in Arts Administration,  
Teachers College, Columbia University)  
¥ 6,500,000



## B-1.芸術創造活動ⅠとB-2.芸術創造活動Ⅱ

Ⅰの2段階による支援体制となった本年度のBプログラムでは、「独創性」「将来性」「適時性」「影響力」「事業計画の実現性」を審査基準に、新たに5団体が助成対象として選出された。

本プログラムにおいては、新規の申請団体はすべて**B-1.芸術創造活動Ⅰ**の募集対象とし、さらに助成額の多い**B-2.芸術創造活動Ⅱ**の対象についてはこの助成期間(3年間)を終了した団体から選考することを、今後原則としていく考えである。ただし、本年度は新体制への移行期間であることから、新規5団体のうち2団体(遊園地再生事業団、山崎広太・rosy CO.,)については近年の活動の充実度や助成の適時性を考慮し、前年度までの「年間活動助成」の対象団体である4団体(ダムタイプ、MODE、燐光群、青年団)同様、B-2プログラムの対象とした。

B-1プログラムは、キャリア的に"若手"と称されることが多く、活動に新たな展開を迎え、将来が期待されている団体がターゲットとなっている。演劇企画集団 **THE・GAZIRA**は気鋭の演出・脚本家である鐘下辰男氏の主宰による演劇プロデュース集団で、鐘下氏の歴史意識の鋭さ、硬派な作風が小劇場以外のフィールドからも注目を集めている。伊藤キム十輝く未来は本年度のバニヨレ国際振付賞選に日本代表として出場を果たし、それを契機に海外へと活動の場を広げつつある新進のダンス・カンパニーである。清水信臣主宰の劇団解体社は独自の身体表現と問題意識が評価されており、近年、海外の前衛芸術フェスティバルへの参加が増加しつつある。

B-2プログラムでは、キャリア的に"若手"から"中堅"への過渡期にあり、すでに評価もある程度確立しているが、更なる活躍の期待される団体がターゲットとなっている。遊園地再生事業団は演出・脚本家の宮沢章夫氏率いる演劇ユニットで、音楽のジャンルから客演を呼ぶなど、演劇ファン以外の客層からも支持を得ている。山崎広太・rosy CO.,はダンサーとして評価の高い山崎広太氏が96年に結成したダンス・カンパニーで、今年は中劇場での公演や多くの海外公演を実現化した。

新規対象の5団体のうち伊藤キム十輝く未来山崎広太・rosy CO.,の2団体が舞踊のジャンル

に相当するが、過去において単発公演の助成対象としては件数的に大きな割合を占めてきたものの、複数年の運営助成の対象としてダンス・カンパニーが選出されたのは今回が初めてである。

助成継続の4団体に関しては、本年度も安定した創造活動を展開し、制作体制や環境整備に対する指針には確固たるものを感じられた。ダムタイプとMODEは今回で最終年となったが、海外での滞在製作を皮切りに、新シリーズ「OR」をスタートしたダムタイプ、主宰の松本修氏の北海道演劇財団や世田谷パブリックシアターでの仕事が決定したMODEと、今後も活躍が大いに期待される。

\* \* \*

The B program, with its two-step support system, started this year. Five newly selected organizations were granted support in this program. The main criteria for selecting the organizations were originality, future perspective, timeliness and feasibility.

All new applications for the B program will first be subjects of selection for the B-1 Administrative Support Program. Grantees of the B-1 program, after completing its three-year term, will then be eligible to apply for the B-2 program with larger grant allocation. However, to cope with the transition, this year two organizations from the five newly selected organizations for the program, YUENCHI-SEISEIJIGYODAN and KOTA YAMAZAKI ROSY CO., were granted support in B-2, taking their qualitative activity in the recent years and timeliness of support into account. Four other organizations, DUMB TYPE, MODE, RIN KO GUN and SEINENDAN, which received support in the former B-1 Administrative Support program last year, continued to receive support under the new B-2 program category.

Grantees of the B-1 program are young and promising organizations who are facing turning points in the career of activities. The THEATER PROJECT TEAM THE GAZIRA is a theatrical production organization led by the energetic producer and playwright, Tatsuo Kaneshita. His keen historical interpretation and serious style have attracted attention from various fields. KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE is a young dance company that has entered "Ves Rencontres Chorégraphiques Internationales de Seine Saint-Denis" (the fifth International Choreography Contest at Seine Saint-Denis, Bagnolet) representing Japan this year and have started to expand their sphere of activity to outside of Japan. GEKIDAN KAITAIsha, led by Shinzin Shimizu, is unique in their physical expression and awareness and has recently participated in various modern art festivals around the world.

Grantees of the B-2 program are leading organizations who are going through turning points and are looked upon as those who will achieve artistic heights. YUENCHI-SEISEIJIGYODAN is a theatrical group led by Akio Miyazawa, who uses music artists as guest stars, has succeeded in attracting a wider variety of audience compared to usual theater companies. KOTA YAMAZAKI ROSY CO., is a dance company organized by the celebrated dancer, Kota Yamazaki. The company has staged performances this year in many theaters around the world.

Among the newly selected five organizations in the B program, KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE and KOTA YAMAZAKI ROSY CO., belong to the dance genre. Dance performances by organizations have received much support from the Foundation in the past but this was the first year that dance companies were selected among grantees with multiple-year support.

The four organizations receiving continuous support from the Foundation from the previous years were active and stable in organizing their activities, especially in improving production system and their artistic environment. This was the last year of support for DUMB TYPE and MODE. However, DUMB TYPE has launched a new series called "OR," and Osamu Matsumoto of MODE contributed to the establishment of the Hokkaido Performing Arts Foundation and the opening of the Setagaya Public Theatre, and they have started paving new roads to another series of success.

## 芸術創造活動 I

助成対象3件/ 助成額12,000,000円

### Administrative Support Program I

3 Grantees/ Grants total: ¥ 12,000,000

1996年度より

From 1996

#### 劇団解体社

4,000,000円

#### GEKIDAN KAITAISHA

¥ 4,000,000

#### 演劇企画集団THE・GAZIRA

4,000,000円

スタジオ提供68日間

#### THEATER PROJECT TEAM

#### THE GAZIRA

¥ 4,000,000

Studio Rental: 68 days

#### 伊藤キム十輝く未来

4,000,000円

スタジオ提供40日間

#### KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE

¥ 4,000,000

Studio Rental: 40 days



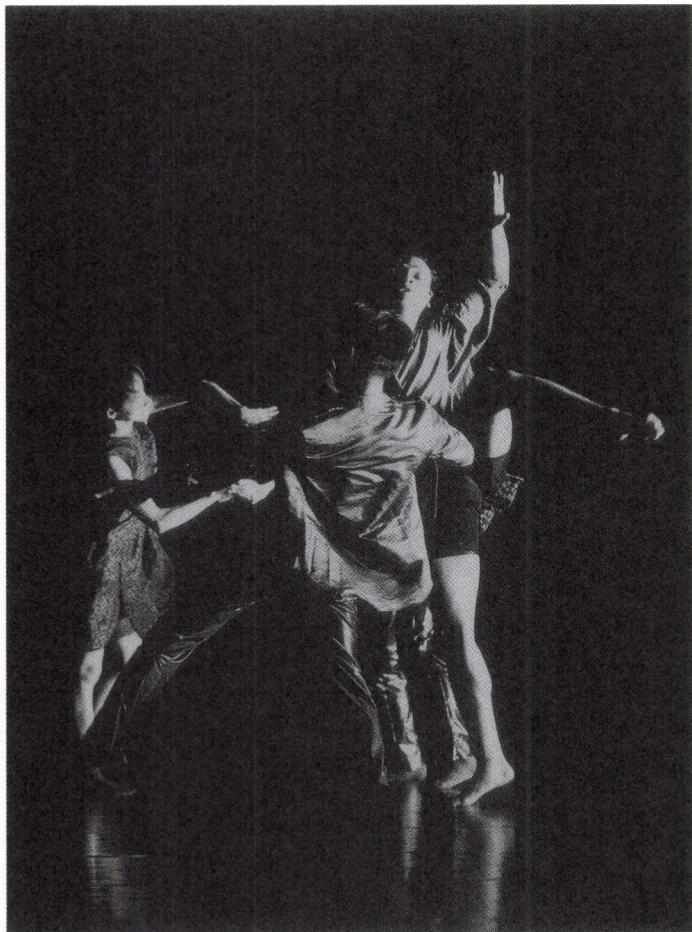
GEKIDAN KAITAISHA "Tokyo Ghetto -Hard Core" photo by Katsu Miyauchi



THEATER PROJECT TEAM THE GAZIRA "Saraba Hokuhen no Kamome", photo by Hiromi Hata



KIM ITOH + GLORIOUS FUTURE "anata" photo by Sakae Oguma



KOTA YAMAZAKI ROSY CO., "What's wrong" photo by Kyoshiro Yoda

---

**B-2**

**芸術創造活動Ⅱ**

助成対象6件/ 助成額52,000,000円

**Administrative Support Program II**  
6 Grantees/ Grants total: ¥ 52,000,000

1996年度より  
From 1996

山崎広太・rosy CO.,  
8,000,000円

スタジオ提供127日間

KOTA YAMAZAKI ROSY CO.,  
¥ 8,000,000  
Studio Rental: 127 days

遊園地再生事業団  
8,000,000円

スタジオ提供19日間

YUENCHISAI SEIJIGYOU DAN  
¥ 8,000,000  
Studio Rental: 19 days



YUENCHISAI SEIJIGYOU DAN "Paradise of Sand" photo by Yoko Sakamoto

1995年度より  
From 1995

青年団

10,000,000円  
スタジオ提供26日間  
SEINENDAN  
¥ 10,000,000  
Studio Rental: 26 days

1994年度より  
From 1994

MODE

12,000,000円  
MODE  
¥ 12,000,000

燐光群

8,000,000円  
スタジオ提供36日間  
RIN KO GUN  
¥ 8,000,000  
Studio Rental: 36 days

1993年度より  
From 1993

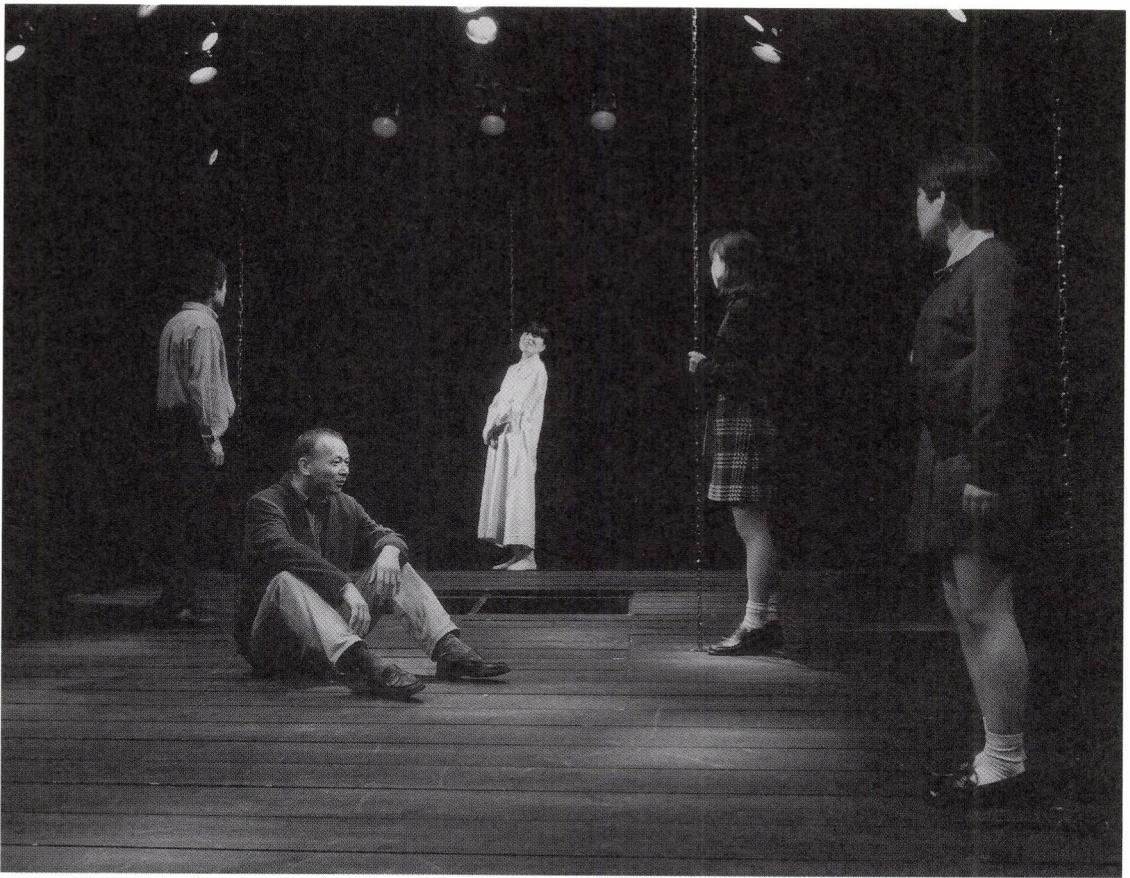
ダムタイプ  
6,000,000円  
DUMB TYPE  
¥ 6,000,000



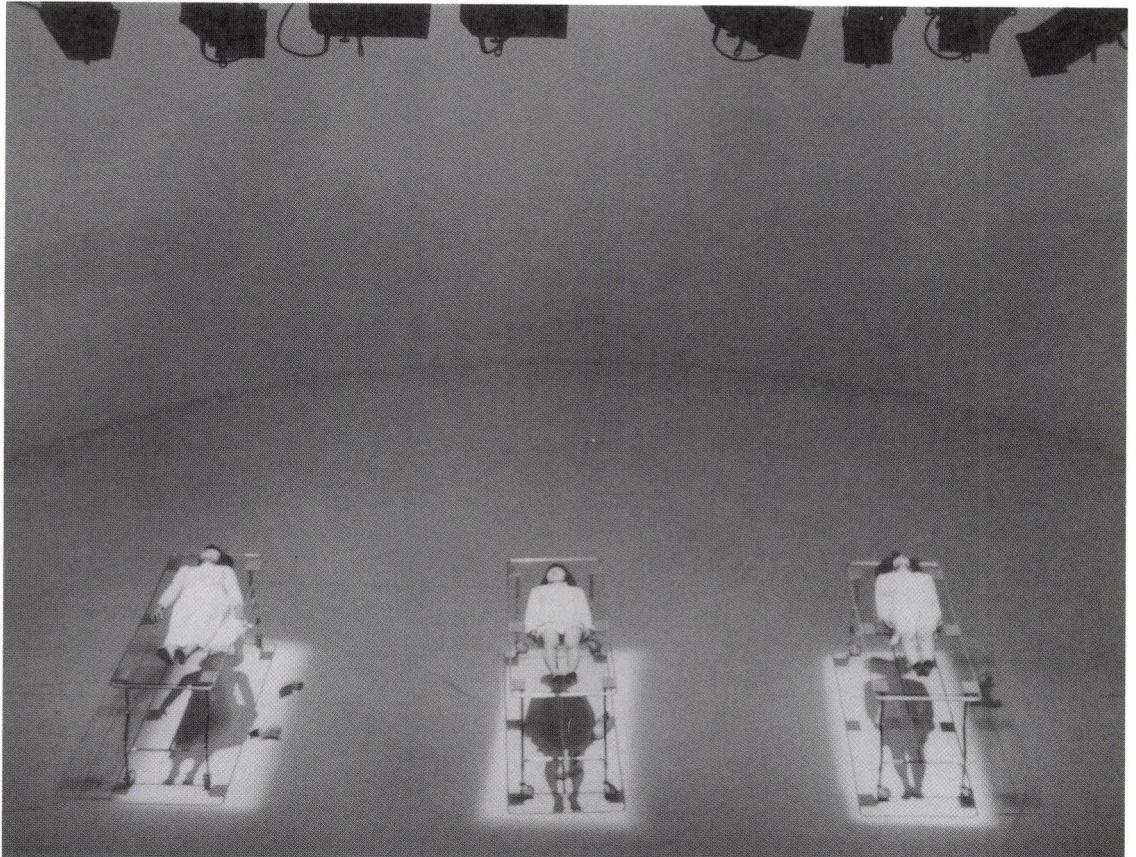
SEINENDAN "Hokugen no Saru (Northernmost Monkeys)" photo by Yumi Ozaki



"The Night of the Galaxy Train" directed by Osamu Matsumoto (MODE) photo by Katsumi Takahashi



RIN KO GUN "La Dolce Vita" photo by Masami Kuwahara



DUMB TYPE "OR" photo by Emmanuel Valette



本年度より国際交流プログラムは、**C-1.国際交流公演活動**と**C-2.国際共同創造活動**の二本柱による一つのプログラムとして編成強化された。これは、芸術分野での国際交流活動が必ずしも国内の現代演劇・舞踊活動と同様の評価基準から判断されるべきものではなく、さらに文化交流、国際状況をふまえた視点が必要との判断から独立したプログラムとなったものである。

C-1においては演劇・舞踊芸術を通した国際相互理解の促進、日本の現代芸術の国際化を目的とし、国内の芸術家/芸術団体の海外公演、海外の芸術家/芸術団体の招聘公演を対象に公募した。C-2は、芸術創造活動の活性化を目的とした国際共同作業に対する助成プログラムで国内外の芸術家による共同創造公演、その過程で行われるワークショップ等の事業が対象となっている。

前者においては、振付家の国際的登竜門「バニヨレ国際振付賞」への日本代表を選考するバニヨレ国際振付賞日本事務局および、イスラエル、ベトナム、デンマーク等、交流の行われることの少ない国や地域での公演活動が採択された。他には、初のアジア進出となった、スペクタクルを得意とする舞踏カンパニー大駱駝艦、日韓の文化交流の尽力に実績のある新宿梁山泊が対象となった。

バニヨレ国際振付賞日本代表には、本年度「芸術創造活動Ⅰ」の対象者となった、舞踏出身で独自のスタイルを模索する若手舞踊家の伊藤キムが選ばれた。海外公演を行ったカンパニーはいずれも定評のある中堅であり、着実な交流を果たした。また、本年度の助成対象で、唯一の招聘公演となったイスラエルの舞踊家イドー・タドモルの公演は若手ながら、内容の濃い力強い作品で感銘を残した。

後者の国際共同創造活動については、国内外の芸術家たちが共同で作品創作にのぞむ場合には、充分な準備期間とコミュニケーションが必要であるとの考えから創造過程に重点をおいた審査がなされた。結果、事業立ち上げ以前から数年にわたる交流を重ね、さらに、2年から3年の綿密な計画によって事業が遂行されている案件が採択された。

竹屋啓子CDCおよび黒テント、ドラゴン・ボン

ド・ライトの事業はいずれもアジア間でのコラボレーションであり、同様の共同創作活動の機会は今後もますます増えていく動向にある。また、シアターXはポーランドの俳優・演出家・教育者であるヤン・ペシェク氏との、ク・ナウカはカタロニアの若手俳優との、コラボレーションであり、地道な作業の上に着実な成果をあげている。また、日本の音楽家、舞踊家による中馬芳子氏の企画は地域住民参加型のユニークな作品を創作した。アンフィシアターからの案件は、いまだグロードウェイに徘徊する「ハラキリ、ゲイシャ、フジヤマ」といった日本のイメージを払拭したいという在米プロデューサーの出口最一氏の志から生まれた継続中の企画である。

異文化との出会いにおいて生じる様々なコンフリクトは、国際間の政治的、文化的問題を示唆する重要な契機ともなる。また、成功の基準を相互理解におくのか、作品の芸術性におくべきなのかによって評価も分かれる。さらなる経験、検討、調査が必要とされる分野だけに、対象事業には、国際共同創造活動の先駆的モデルとして、広く現代演劇・舞踊界へのフィードバックが期待される。

\* \* \*

Starting this year, the International Exchange Activities Program, which used to be a component of the grant program for performances, was established as one independent program with two components, i.e., C-1 International Performance Program and C-2 International Collaboration Program. This alteration was made from the perspective that the same criteria for selecting grantees should not be applied for activities both in and out of Japan, and to emphasize the importance of cultural and international exchange.

The C-1 program was designed for overseas performances by Japanese artists and companies and for domestic performances by visiting foreign artists and companies with the aim of promoting international understanding of Japanese contemporary art through theater and/or dance. The C-2 program is to support international collaboration projects with the aim of activating artistic and creative activity. This includes collaborative performances by Japanese artists and workshops held during the

process of collaboration.

In the C-1 program, BUREAU JAPONAIS DES RENCONTRES DES DE BAGNOLET (Bureau of Japan for Bagnolet International Chorography Contest), which selects Japanese representatives to enter the contest, and performances by several different Japanese companies held in countries where a very limited number of Japanese artists have ever performed in, such as Israel, Vietnam, Denmark, were granted support. A Butoh dance company that excels in staging spectacular shows, DAIKAKUDAKAN, and the Korean tour by SHINJUKU RYOZANPAKU, with its own long history of Japan-Korean cultural exchange, were also granted support this year. Kim Itoh, the young dancer with a unique style, who is also a grantee in the B-1 program, represented Japan in the Bagnolet International Chorography Contest. Other companies that performed outside Japan with the support from the Foundation also enjoyed the opportunity to exchange views with local artists and audiences. The only project which included the invitation of a foreign artist and was awarded a grant was organized by the EMBASSY OF ISRAEL, TOKYO for the performance by Ido Tadmor and Comppany, who impressed many audiences in Japan with their powerful act.

The grantees of the C-2 program were selected on the basis that sufficient preparation and communication is necessary in pursuing artistic collaborations. As a result, projects with careful preparatory planning of two to three years and experimental exchanges before the actual collaborations took place were granted support. The projects by KEIKO TAKEYA C.D.C., THE BLACK TENT THEATER and DRAGON BOND RITE all involved collaborations with Asian artists. Collaborations of this kind are expected to increase in the future. THEATER X did a collaboration with the Polish actor, producer and educator, Jan Peszek, while KU NA'UKA THEATRE COMPANY collaborated with young actors from Catalonia. YOSHIKO CHUMA collaborated with US musicians and dancers that created unique pieces of art with local residents of the town of Tsurugi in Ishikawa prefecture. Collaboration in process by AMPHITHEATER was presented by Makoto Deguchi, a Japanese producer in US, who wanted to eliminate old Japanese images of "Harakiri," "Geisha," or

"Fujiyama" that still prevail in Broadway.

Conflicts that may occur between cultures in producing art give us important insight into political and cultural struggles in the international society. In addition, the criteria for success of such collaborations still are ambiguous - some may appraise the international understanding gained through collaborations, others the artistic level of the produced art. Since this is an area that needs more experience and more research, grantees are expected to provide feedback of their experiences to the contemporary theater and dance society.

#### C-1

##### 国際交流公演活動

助成対象7件/助成額9,500,000円

##### International Performance Program

7 Grantees/ Grants total: ¥ 9,500,000

##### 山海塾

##### 山海塾イスラエル公演

97年2月27日～3月11日

テルアビブ(テルアビブ・パフォーミングアーツ・センター)、エルサレム(エルサレム・シェアオーヴァー・シアター)

1,500,000円

##### SANKAIJUKU

##### Sankaijuku Israel Tour

February 27 – March 11, 1997

Tel Aviv (Tel Aviv Performing Arts Center),  
Jerusalem (Jerusalem Sherover Theater)

¥ 1,500,000

##### 東京演劇アンサンブル

##### 「沖縄」ベトナム、イタリア公演

96年11月27日～12月30日

ハノイ(国立ハノイ青年劇場)、ホーチミン(国立ホーチミン市民劇場)、ジェノバ(テアトロ・デ・ラ・トッセ)、ローマ(テアトロ・ヴァシェッロ)

1,500,000円

##### TOKYO ENSEMBLE

##### Performances in Vietnam and Italy, "OKINAWA"

November 27 – December 30, 1996

Hanoi (The Youth Theatre), Ho Chi Minh City  
(The Citizen's Theatre), Genoa (Teatro Della Tosse), Rome (Teatro Vascello)

¥ 1,500,000

##### バニヨレ国際振付賞日本事務局

##### 第5回バニヨレ国際振付賞1996年

96年6月12日～16日

セーヌ・サンドニ(ボビニ劇場)

1,500,000円

BUREAU JAPONAIS DES RENCONTRES DES

DE BAGNOLET

Ves Rencontres Chorégraphiques

Internationales de Seine Saint-Denis

June 12 – 16, 1996

Seine Saint-Denis (Maison de la Culture de

Seine Saint-Denis, Bobigny)

¥ 1,500,000

##### 大駱駝艦

##### 大駱駝艦・天賦典式「死者の書 '96」アジア芸術祭

参加公演

96年10月24日～25日

香港(香港文化中心大劇院)

1,500,000円

スタジオ提供17日間

##### DAIRAKUDAKAN

Performances of "Book of the Dead '96" at  
the Festival of Asian Arts in Hong Kong

October 24 – 25, 1996

Hong Kong (Hong Kong Cultural Centre Grand  
Theatre)

¥ 1,500,000

Studio Rental: 17 days

##### 新宿梁山泊

##### 「それからの夏」韓国公演

96年8月23日

水原市(華西門野外劇場)

1,500,000円

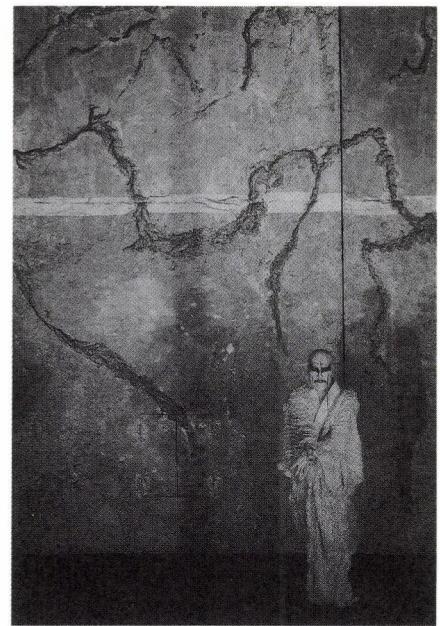
##### SHINJUKU RYOZANPAKU

Performance in Korea, "Lovely Media"

August 23, 1996

Suwon (Fasomun Open Theatre)

¥ 1,500,000



DAIRAKUDAKAN "Book of the Dead '96"

##### NOISE

「青ひげの城」欧州文化都市コペンハーゲン  
'96参加公演

96年8月19日～27日

コペンハーゲン(カノンハーレン)、ニューベリー  
(ウォーターミル・シアター)、ロンドン(リバーサ  
イド・スタジオ)

1,500,000円

スタジオ提供9日間

##### NOISE

Performances at the 1996 EU-Japan Fest in  
Copenhagen, "Bluebeard's Castle"



SHINJUKU RYOZANPAKU "Lovely Media"

August 19 – 27, 1996  
 Copenhagen (Kanonhallen), Newbury  
 (Watermill Theatre), London (Riverside Studio)  
 ¥ 1,500,000  
 Studio Rental: 9 days

イスラエル大使館  
 イドー・タドモル・アンド・カンパニー来日公演

96年9月15日～16日

東京(シアターX)

500,000円

EMBASSY OF ISRAEL, TOKYO

Inviting performances from Israel, "TA" by  
 Ido Tadmor and Company

September 15 – 16, 1996

Tokyo (Theater X)

¥ 500,000

## C-2

### 国際共同創造活動

助成対象7件/ 助成額11,500,000円

International Collaboration Program

7 Grantees/ Grants total: ¥ 11,500,000

シアターX

ヤン・ペシェクのワークショップと一人芝居「存在しないが存在可能な楽器俳優のためのシナリオ」

公演

96年10月22日～27日

東京(シアターX)

2,000,000円

THEATER X

Workshops and performances by Jan  
 Peszek, "SCENARIUSZ DLANIE  
 ISTNIEJACEGO LECZ MOZLISEGO AKTORA  
 INSTRUMENTALNEGO"

October 22 – 28, 1996

Tokyo (Theater X)

¥ 2,000,000

竹屋啓子コンテンポラリー・ダンス・カンパニー  
 「ダンス東風—アジアの芸術家と共に—Ⅱ」公演



NOISE "Bluebeard's Castle"

96年6月7日～7月27日

東京(国際交流フォーラム)、クアラルンプール  
 (K.B.N.)

1,500,000円

KEIKO TAKEYA C.D.C.

"Dance Tonpu II" in collaboration with  
 Asian artists

June 7 – July 27, 1996

Tokyo (The Japan Foundation Forum), Kuala  
 Lumpur (Komplek Budaya Negar)

¥1,500,000

劇団黒テント

「喜劇・ロミオとジュリエット」公演(AT-NET21、  
 フィリピンPETAとの共同作業)

96年12月10日～17日

マニラ(マニラ国立文化センター)

1,500,000円

THE BLACK TENT THEATER

"Romeo and Juliet: insang komedi" (AT

NET 21, collaboration project with PETA,  
 the Philippines)

December 10 – 17, 1996

Manila (National Commission on Culture and  
 the Arts)

¥ 1,500,000

ク・ナウカ シアターカンパニー

ク・ナウカ シアターカンパニー 日仏西合作

「Salomé」ヨーロッパ・ツアー

96年6月15日～29日

シチス(シチス・テアトル)、モンベリエ(プラン  
 タン・デ・コメディエノ)、サンテティエンヌ(コ  
 メディ・サンテティエンヌ)

2,000,000円

KU NA'UKA THEATRE COMPANY

"Salomé" Europe tour, a project with  
 Spanish and French actors

June 15 – 29, 1996

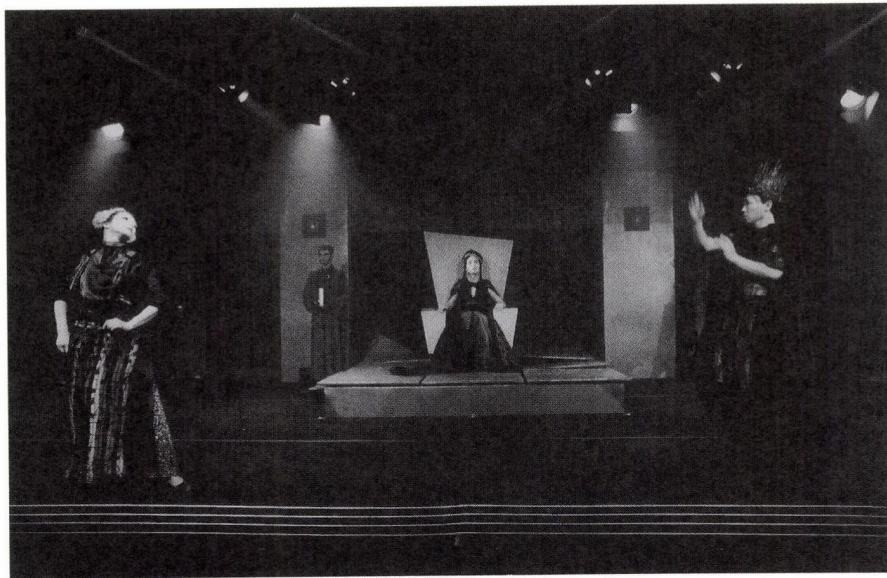
Sitges (Sitges Theatre Internacional),



Jan Peszek in his performance at Theater X



THE BLACK TENT THEATER "Romeo at Juliet: insang komedi"



KU NA'UKA THEATRE COMPANY "Salomé"

Montpellier (Printemps des Comedieno), St. Etienne (Comedie de St. Etienne)  
¥ 2,000,000

**YOSHIKO CHUMA & THE SCHOOL OF HARD KNOCKS**

「クラッシュ・オーケストラ鶴来組曲」十「クラッシュ・オーケストラ スパイナルミックス」公演  
96年9月5日～10月7日  
東京(スパイナル)、石川(鶴来町内民家ほか)、茨城(守谷町内民家ほか)  
1,500,000円

**YOSHIKO CHUMA & THE SCHOOL OF HARD KNOCKS**

"Crash Orchestra/Japan 1996"  
September 5 - October 7, 1996  
Tokyo (Spiral Hall), Ishikawa (in Tsurugi City),  
Ibaragi (in Moriya City)  
¥ 1,500,000

**AMPITHEATER INC**

オリジナルプレイ「ZERO」制作ワークショップ  
96年7月1日～  
ニューヨーク  
2,000,000円

**AMPITHEATER INC**

Workshops for Original Play "ZERO"  
July 1996 -  
New York  
¥ 2,000,000

**リチャード・エマート**

「Dragon Bond Rite」  
97年5月20日～6月10日  
ミネアポリス(ウォーカー・アートセンター)、ニューヨーク(ジャパン・ソサエティ)、ワシントンDC(ケネディセンター)  
1,000,000円

**RICHARD EMMERT**

Dragon Bond Rite  
May 20 - June 10, 1997  
Minneapolis (Walker Art Center), New York  
(Japan Society), Washington, D.C. (Kennedy Center)  
¥ 1,000,000

**■森下スタジオその他利用者**  
Other Users of Morishita Studio

風煉ダンス  
96年8月1～11日、13日～18日  
FUREN DANCE  
August 1 - 11, 13 - 18, 1996

永谷亜紀

96年8月18日～31日  
AKI NAGATANI  
August 18 - 31, 1996

山の手事情社

96年9月30日～10月16日  
YAMANOTE JIJOHSHA COMPANY  
September 30 - October 16, 1996

大人計画

96年10月17日～31日  
OTONAKEIKAKU  
October 17 - 31, 1996

珍しいキノコ舞踊団

96年10月21日～11月1日  
STRANGE KINOKO DANCE CO.,  
October 21 - November 1, 1996

イデビアン・クルー

96年11月1日～30日  
IDEBIEN CREW  
November 1 - 30, 1996

**トランク・シアター**

96年12月2日～9日  
TRUNK THEATER  
December 2 - 9, 1996

**仲野恵子&ダンスマジアム山羊**

96年12月10日～19日  
KEIKO NAKANO & DANCE MUSEUM YAGI  
December 10 - 19, 1996

**東京乾電池オフィス**

96年12月20日～30日、97年1月4日～15日  
TOKYO KANDENCHI OFFICE CO.,  
December 20, 1996 - January 15, 1997

**木佐貴邦子**

96年12月22日～24日、97年1月9日～27日  
KUNIKO KISANUKI  
December 22 - 24, 1996, January 9 - 27, 1997

**VARIOUS ARTS UNIT 韓日ダンスフェスティバル**

推進委員日本支部  
97年1月25日～26日、4月27日～4月28日  
VARIOUS ARTS UNIT KOREA JAPAN DANCE  
FESTIVAL PROMOTE JAPAN SPOT  
January 25 - 26, April 27 - 28, 1997

**扇町ミュージアムスクエア**

97年1月31日～2月15日  
OGIMACHI MUSEUM SQUARE  
January 31 - February 15, 1997

**ダンス・プロダクション**

97年2月10日～12日  
DANCE PRODUCTION  
February 10 - 12, 1997

**ダンスカンパニー Nomade～s**

97年2月16日～28日  
DANCE COMPANY NOMADE～s  
February 16 - 28, 1997

**【P4】の会**

97年3月1日～9日、16日～29日

**【P4】**  
March 1 - 9, 16 - 29, 1997

**シルバーライニング**

97年3月30日～4月14日  
KK SILVER LINING  
March 30 - April 14, 1997

**安藤洋子**

97年4月15日～17日、24日～30日  
YOKO ANDO  
April 15 - 17, 24 - 30, 1997

**武元賀寿子DANCE VENUS**

97年5月1日～31日  
KAZCO TAKEMOTO'S DANCE VENUS  
May 1 - 31, 1997

**東京ダンス機構**

97年5月1日～31日  
DANCE RESEARCH TOKYO  
May 1 - 31, 1997

**ダンス普及連絡会**

97年6月1日～10日  
DANCE FUKYU RENRAKU-KAI  
June 1 - 10, 1997

**ナイロン100°C**

97年7月1日～27日  
NYLON 100°C  
July 1 - 27, 1997

## 特別助成 Special Project Support Grants

助成対象6件/ 助成総額17,394,000円  
6 Grantees/ Grants total: ¥ 17,394,000

特別助成では、現代演劇・舞踊以外の領域で、公募によらず理事・評議員によって提出された案件の中から採択されたものに対して支援を行っている。

本助成事業の目的は、国家やジャンルといった既存の枠組みを超えて展開される創造・研究などの先進的活動を奨励することにある。ここ数年、国際交流事業を中心に援助が行われてきたが、本年度もこの流れが継承され、文学・音楽・映画を含む日本の現代芸術の海外での活動への助成が行われた。

日本の現代詩歌とそれをめぐる論考を中心に英訳・出版を行ってきた大岡信氏とトマス・フィッツシモンズ氏の事業では本年度も、木島始氏と谷川俊太郎氏の英訳詩集等が出版された。一方日英詩人交流プログラム事務局は、高橋睦郎氏と伊藤比呂美氏が各自自作を英国で披露する機会を設けた。また、東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブルー新しい伝統によるオーストリアとドイツでの公演では、故・武満徹氏をはじめとする日本の現代音楽の作曲家による雅楽・俗楽等の作品が演奏され、世界的な視点から音楽の新しい可能性と普遍性を追求した。さらに、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ日本名誉委員会は、本年度のロンドンでの「日本文化の夕べ」として、映画監督の篠田正浩氏と女優の岩下志麻氏をゲストに、同監督の1995年作品『写楽』の英国初の特別上映会を開催した。

継続的な支援が実施されているアジアン・カルチュラル・カウンシルの人物交流プログラムでは、本年度日本から6名と米国から5名の芸術家、および6つの芸術団体のプロジェクトが選抜された。

The Saison Foundation provides financial support for activities outside the field of contemporary theater and dance.

Grants are awarded to selected organizations and/or individuals recommended by the Board of Directors and Board of Trustees. The objective of the grants is to support future-oriented creative and research activities that transcend the framework of nationality and genre. International exchange projects have been the core of this grant category in the past few years and the grants for this year were also made in line with this trend. The projects that were awarded grants this year were activities that introduced Japanese contemporary art including literature, music and cinema to overseas.

In the project led by OOKA MAKOTO and THOMAS FITZ-SIMMONS, who have translated and published materials related to Japanese contemporary poetry, this year translations of poetry written by Hajime Kijima and Shuntaro Tanikawa were published. Meanwhile, the COMMITTEE OF ANGLO-JAPANESE POET EXCHANGE PROGRAMME introduced the poetry of Mutsuo Takahashi and Hiromi Ito in Britain by organizing public reading events there. At the performances staged in Austria and Germany by the TOKYO INTERNATIONAL MUSIC ENSEMBLE, Japanese court music composed by the late Toru Takemitsu and other contemporary Japanese composers were introduced, highlighting the new possibility and universality of world music. THE ROYAL ACADEMY OF ARTS sponsored a "Japanese Cultural Evening" in London featuring the British premiere of the 1995 film "Sharaku" with Masahiro Shinoda, the film director, and the starring actress Shima Iwashita as guests.

Continuous support was given to under the Japan-US Arts Program through the ASIAN CULTURAL COUNCIL for its artist exchange activities which included six Japanese and five US artists and six organizations.

大岡信、トマス・フィッツシモンズ

『Asian Poetry in Translation: Japan, and Reflections』出版

96年6月1日～97年5月31日

日本/アメリカ

1,000,000円

KATY DID BOOKS (OOKA MAKOTO & THOMAS FITZSIMMONS)

Publication of "Asian Poetry in Translation: Japan, and Reflections"

June 1, 1996 – May 31, 1997

Japan/USA

¥ 1,000,000

ドナルド・キーン・センター・オブ・ジャパンーズ・

カルチャー

「安部公房記念行事」開催

96年3月24日～5月31日

ニューヨーク(コロンビア大学)

3,500,000円

THE DONALD KEENE CENTER OF JAPANESE CULTURE

"The Kobo Abe Commemoration"

March 24, 1996 – May 31, 1996

New York (Columbia University)

¥ 3,500,000

日英詩人交流プログラム事務局

日英詩人交流プログラム

96年10月28日～11月4日

ロンドン(サウス・バンク・センター、ロンドン大学内東洋アフリカ研究所)

\*95年度助成(1,000,000円)の残余額を96年度分に振替

COMMITTEE OF ANGLO-JAPANESE POET EXCHANGE PROGRAMME

Anglo-Japanese Poet Exchange Programme

October 28 – November 4, 1996

London (South Bank Centre/School of Oriental & African Studies, University of London)

\* ¥ 1,000,000 (transferred from the grant made in 1995)

東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブルー新しい伝統ー

ウィーン・モデルン音楽祭参加及びケルン公演

96年11月6日～11月12日

ウィーン(コンツェルトハウス・モーツアルトザール)、ケルン(ケルン日本文化研究所)

2,000,000円

TOKYO INTERNATIONAL MUSIC ENSEMBLE - THE NEW TRADITION

Performances at the Wien Modern Festival and at Cologne

November 11 – 12, 1996

Vienna (Konzerthaus Mozart-Saal), Cologne (Japanischen Kulturinstitut Köln)

¥ 2,000,000

ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ日本名譽委員会

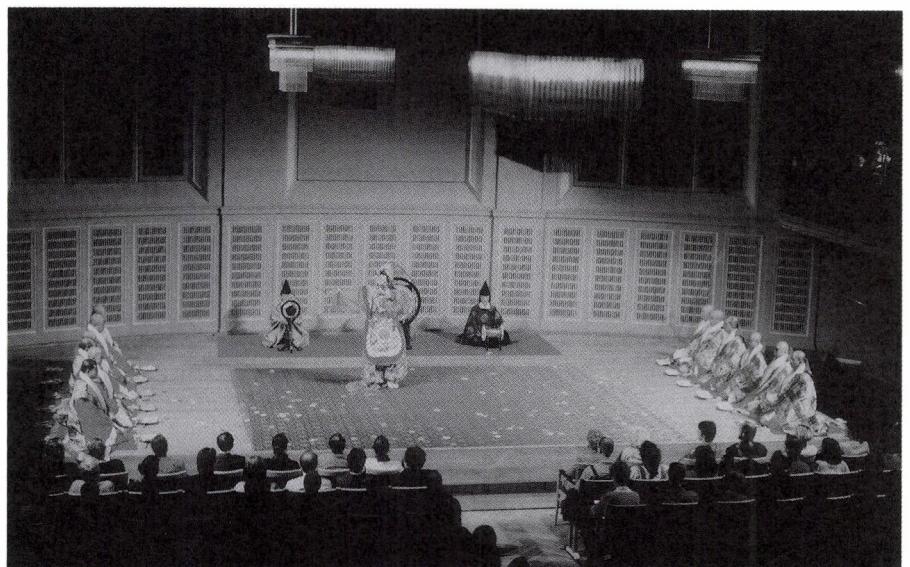
「日本文化のタベ」開催

96年9月30日

ロンドン(ザ・ブリティッシュ・アカデミー・オブ・フィルム&テレビジョンアーツ、ロイヤル・アカデミー)



Japanese Poetry Reading at South Bank Centre



TOKYO INTERNATIONAL MUSIC ENSEMBLE Performance

3,894,000円

COMMITTEE OF HONOUR IN JAPAN OF THE ROYAL ACADEMY OF ARTS

"Japanese Cultural Evening"

September 30, 1996

London (The British Academy of Film & Television Arts, Royal Academy of Arts)

¥ 3,894,000

アジアン・カルチャラル・カウンシル

日米芸術交流プログラム

1997年1月1日～12月31日

東京/ニューヨーク

7,000,000円

ASIAN CULTURAL COUNCIL

ACC Japan-United States Arts Program

Fellowships

January 1 – December 31, 1997

Tokyo/New York

¥ 7,000,000



THEATER PROJECT TEAM THE GAZIRA  
"Saraba Hokuhen no Kamome"  
photo by Hiromi Hata

自主製作事業

---

SPONSORSHIP PROGRAMS

## セミナー Seminars

### 制作実践セミナー

#### 第1回「海外公演の実施と問題点」

講師:曾田修司(国際舞台芸術交流センター)、  
小山田徹(ダムタイプ)

1996年11月6日

東京(モリイチレンタルスペース)

国際芸術交流に長く従事する曾田氏によるレクチャー「海外公演の戦略」、海外で継続的に公演活動を行うダムタイプのメンバー小山田氏によるケーススタディー「ダムタイプの海外公演の経緯」を実施。曾田氏は、海外公演の前提条件、公演までの過程、決定後公演を成功させるには、公演の後でどうしたらいいか、などの概論を、小山田氏は、初海外公演とその後の数回のワールドツアーの経緯・交渉や運搬・移動の際のポイントなどの経験談を披露。海外公演の経験者、公演を予定し

ている芸術団体を中心に、28名の制作者等が参加した。

#### ARTS MANAGEMENT SEMINAR SESSIONS

##### Session 1 "Organizing Overseas Performance Tours"

Lecturer: Syuji Sota (PARC, Pacific Basin Arts Communication) / Toru Koyamada (Dumb Type)

November 6, 1996

Tokyo (Moriichi Rental Space)

This session included a lecture by Mr. Sota on strategies for organizing overseas tours, and also a presentation by Mr. Koyamada based on actual experiences on this topic.

### 制作実践セミナー

#### 第2回「ワークショップ活動の可能性—自治体との取り組みを中心に」

講師:松本修(MODE)

1997年1月16日

東京(森下スタジオ)

自治体や公共ホールの主催で多数のワークショップ活動を行う、MODEの松本修氏によるレクチャー「ワークショップ活動の可能性」を実施。『MODE演劇ワークショップの軌跡 1990~1995』をテキストに、特に現場で抱えている問題や、経済面に関する現状が報告された。制作者やアーティストをはじめ自治体関係者、コーディネーター等21名が参加した。

#### ARTS MANAGEMENT SEMINAR SESSIONS

##### Session 2 "Workshops And Residencies – Cooperation with Local Governments"

Lecturer: Osamu Matsumoto (MODE)

January 16, 1997

Tokyo (Morishita Studio)

Mr. Matsumoto, who is the founder of a theater company called MODE, gave a detailed report on his company's workshops and residency projects organized by local governments, especially from managerial and financial aspects.



ARTS MANAGEMENT SEMINAR Session 1



ARTS MANAGEMENT SEMINAR Session 2

## 公演 Performances

### ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー

#### 「夏の夜の夢」

作: ウィリアム・シェイクスピア

演出: エイドリアン・ノーブル

1997年1月17日~2月8日

東京(銀座セゾン劇場)

共催: 朝日新聞社/テレビ朝日

後援: ブリティッシュ・カウンシル

企画制作: 銀座セゾン劇場

ROYAL SHAKESPEARE COMPANY  
"A Midsummer Night's Dream"

By William Shakespeare

Directed by Adrian Noble

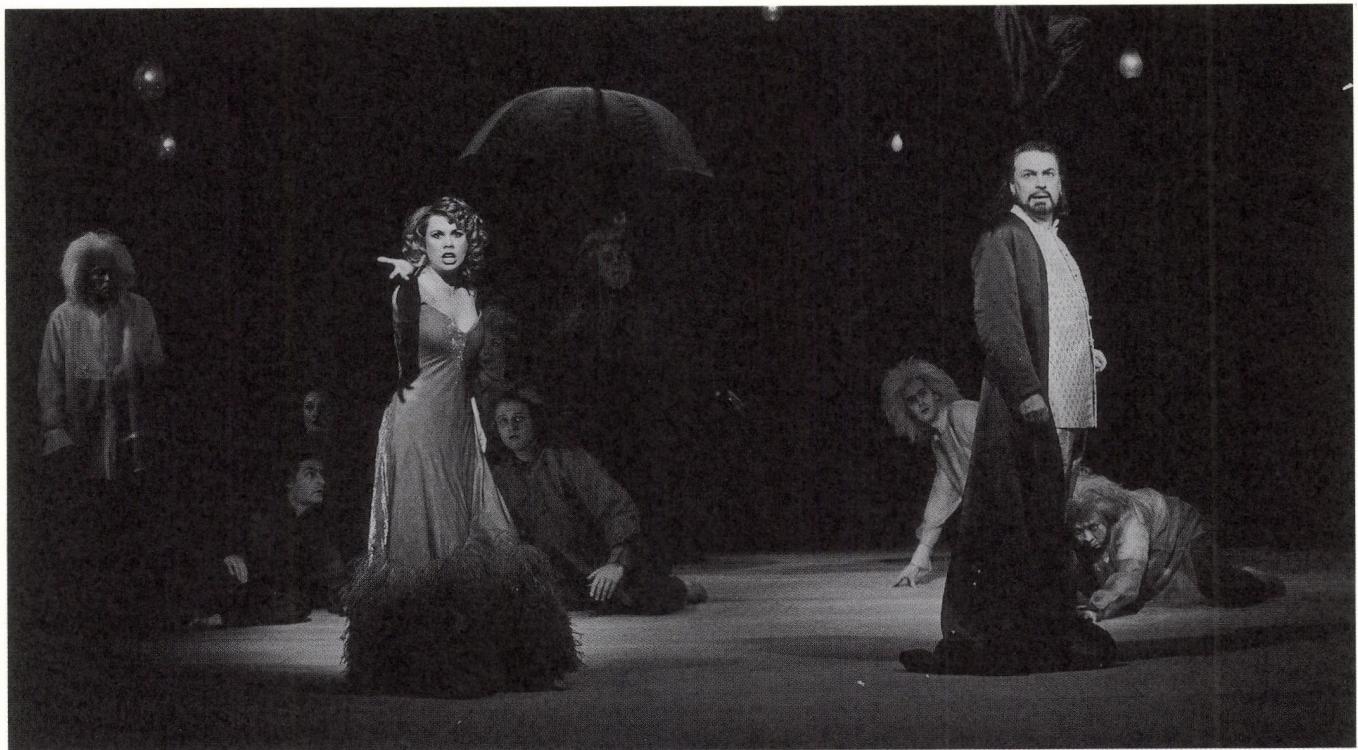
January 17 - February 8, 1997

Tokyo (Ginza Saison Theatre)

In cooperation with The Asahi Shimbun/ TV Asahi



RSC "A Midsummer Night's Dream"



RSC "A Midsummer Night's Dream"



RSC "A Midsummer Night's Dream"

Supported by The British Council  
Produced by the Ginza Saison Theatre

八ヶ岳高原音楽祭 '96「武満徹メモリアルコンサート」

1996年9月14日～15日

長野(八ヶ岳高原音楽堂)

共催:八ヶ岳高原音楽祭実行委員会

制作:八ヶ岳高原音楽祭実行委員会

YATSUGATAKE MUSIC FESTIVAL '96

"Toru Takemitsu Memorial Concerts"

September 14-15, 1996

Nagano (Yatsugatake Kogen Music Hall)

In cooperation with the Yatsugatake Music

Festival Executive Committee

Produced by the Yatsugatake Music Festival

Executive Committee



"YATSUGATAKE MUSIC FESTIVAL '96" photo by Akira Kinoshita



"YATSUGATAKE MUSIC FESTIVAL '96" photo by Akira Kinoshita



RSC "A Midsummer Night's Dream"

# 業務日誌

## Review of Activities

### 1996年

4月18日 審査委員会  
5月22日 第10回理事会(1995年度事業及び収支決算報告の件、1996年度事業計画及び収支予算の件)  
第10回評議員会(役員選出の件、1995年度事業及び収支決算報告の件、1996年度事業計画及び収支予算の件)  
5月23日 1996年度助成決定通知  
6月1日 1996年度スタジオ2次募集開始  
6月4日 1996年度助成対象者面接開始  
6月13日 文化庁に1995年度事業報告書及び1996年度事業計画書提出  
6月28日 1996年度スタジオ2次申請締切  
7月11日 1996年度スタジオ2次決定通知  
9月14日～15日 八ヶ岳高原音楽祭'96「武満徹メモリアルコンサート」  
10月1日 ニュースレター『viewpoint』1号発行  
11月1日 1997年度《現代演劇・舞踊助成》募集開始  
11月6日 第1回制作実践セミナー

### 1997年

1月16日 第2回制作実践セミナー  
1月17日～2月28日 ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー公演「夏の夜の夢」  
2月28日 1997年度助成申請締切  
3月1日 ニュースレター『viewpoint』2号発行  
3月18日 第11回理事会(寄附行為変更の件、1997年度事業計画及び収支予算の件)  
第11回評議員会(役員選出の件、寄附行為変更の件、1997年度事業計画及び収支予算の件)  
3月28日 文化庁に寄附行為の一部変更許可申請

### Year 1996

April 18 Reviewing Committee meeting  
May 22 10th Board of Directors meeting (Agenda: report on 1995 activities and settlement of accounts, discussion on 1996 planned activities and proposed budget)  
10th Board of Trustees meeting (Agenda: selection of Board of Directors members, report on 1995 activities and settlement of accounts, discussion on 1996 planned activities and proposed budget)  
May 23 Notification to applicants for 1996 Grants  
June 1 Secondary application period begins for 1996 Morishita Studio Rental  
June 4 Start of 1996 Grantee Interviews  
June 13 Report on activity to the Agency for Cultural Affairs  
June 28 Deadline for secondary applications for 1996 Morishita Studio Rental  
July 11 Notification to applicants for 1996 Morishita Studio Rental  
September 14-15 Yatsugatake Music Festival '96 "Toru Takemitsu Memorial Concerts"  
October 1 Issue of news letter "viewpoint" No.1  
November 1 Application period begins for 1997 Contemporary Theater and Dance Grants  
November 6 Arts Management Seminar Sessions: 1

### Year 1997

January 16 Arts Management Seminar Sessions: 2  
January 17--February 28 Royal Shakespeare Company "A Midsummer Night's Dream"  
February 28 Deadline for 1997 Grants  
March 1 Issue of news letter "viewpoint" No.2  
March 18 11th Board of Directors meeting (Agenda: discussion on amendment of the articles of the Foundation, discussion on 1997 planned activities and proposed budget)  
11th Board of Trustees meeting (Agenda: selection of Board of Directors members, discussion on amendment of the articles of the Foundation, discussion on 1997 planned activities and proposed budget)  
March 28 Application to the Agency for Cultural Affairs for the approval of the amended articles of the Foundation

会計報告  
Financial Report

収支計算書 1996年4月1日～1997年3月31日

STATEMENT OF REVENUS, EXPENSES from April 1, 1996 to March 31, 1997

単位:円/in yen

I 収入の部 REVENUE

1. 基本財産運用収入 Investment income from endowment	245,417,579
2. 運用財産運用収入 Investment income from operating fund	100,826,371
3. 運用財産収入 Contributions	100,500,000
4. 貸貸収入 Income from lease	27,751,284
5. 雜収入 Miscellaneous income	116,740
6. 繰入金収入 Income transferred from special account	10,606,624
<b>当期収入合計 Net Total Revenue</b>	<b>485,218,598</b>
<b>前期繰越収支差額 Balance Brought Forward</b>	<b>3,423,964,680</b>
<b>収入合計 Balance Brought Forward</b>	<b>3,909,183,278</b>

I 支出の部 EXPENSES

1. 事業費 Program Services	314,416,246
（うち助成事業/現代演劇・舞踊 Grant Programs/ Contemporary Theater and Dance Grants）	(110,500,000)
（うち助成事業/特別 Grant programs/ Special Projects Support Grants）	(17,394,752)
（うち自主製作事業 Sponsorship Programs）	(121,818,776)
2. 管理費 General management	103,693,428
3. 投資有価証券振替支出 Transferred to fixed assets	3,199,810,000
4. 繰入金支出 Expenses transferred from special account	10,606,624
<b>当期支出合計 Total Expenses</b>	<b>3,628,526,298</b>
<b>当期収支差額 FUND BALANCES</b>	<b>△3,143,307,700</b>
<b>次期繰越収支差額 BALANCE CARRIED FORWARD</b>	<b>280,656,980</b>

貸借対照表 1997年3月31日現在

BALANCE SHEET as of March 31, 1997

単位:円/in yen

I 資産の部 ASSETS

1. 流動資産 Current Assets	
現金預金 Cash	104,666,063
未収収益等 Accrued revenue	12,879,346
有価証券等 Marketable securities	175,822,875
流動資産合計 Total current assets	293,368,284
2. 固定資産 Fixed assets	
基本財産 Endowment fund	
有価証券 Marketable securities	4,500,000,000
土地 Land	2,254,915,150
基本財産合計 Total endowment fund	6,754,915,150
その他の固定資産 Other fixed assets	3,674,910,066
固定資産合計 Total fixed assets	10,429,825,216
<b>資産合計 Total Assets</b>	<b>10,723,193,500</b>

II 負債の部 LIABILITIES

<b>負債合計 Total Liabilities</b>	<b>17,201,804</b>
-------------------------------	-------------------

III 正味財産の部 NET ASSETS

正味財産 Net assets	10,705,991,696
（うち基本金 Endowment fund）	(6,754,915,150)
（うち当期正味財産増加額 Increment of assets）	(37,204,202)
<b>負債および正味財産合計 Total Liabilities and Net Assets</b>	<b>10,723,193,500</b>

**資金助成の概況**  
**Summary of Financial Support**

分野 category	年度 year	申請件数 number of applications	助成件数 number of grants made	助成金額(¥) grants in yen
<b>現代演劇・舞踊助成</b> <b>Contemporary Theater and Dance Grants</b>				
	1987-92	398	140	605,040,000
	1993	210	46	113,250,000
	1994	351	46	128,644,000
	1995	227	40	100,000,000
	1996	207	43	111,500,000
累計 total	1393	315	1,058,434,000	
<b>特別助成</b> <b>Special Project Support Grants</b>				
	1987-92	94	60	335,247,000
	1993	20	16	62,500,000
	1994	14	12	31,350,000
	1995	13	9	27,831,000
	1996	8	6	17,394,000
累計 total	149	103	474,322,000	

# 役員・評議員名簿

1996年6月1日現在  
(五十音順)

理事長	植木浩 東京国立近代美術館館長
堤清二 セゾンコーポレーション会長	江頭啓輔 大沢商会社長
常務理事	小田島雄志 東京芸術劇場館長・文京女子短期大学教授
生野重夫 セゾン生命保険取締役相談役	川上浩 ヤマハリゾート会長
八木忠栄 セゾンコーポレーション文化部長	川口幹夫 日本放送協会会長
理事	紀国憲一 国立学園理事・顧問
石川六郎 鹿島名誉会長	絹村和夫 東京メトロポリタンテレビジョン副社長
河竹登志夫 日本演劇協会会长・早稲田大学名誉教授	小池一子 武蔵野美術大学造形学部教授
木田宏 新国立劇場運営財団理事長	後藤茂 ファミリーマート社長
白洲正子 著述業	近藤道生 博報堂代表取締役
永井道雄 国際文化会館理事長	佐治俊彦 SSコミュニケーションズ社長
羽倉信也 第一勵業銀行相談役	佐野文一郎 東京国立博物館館長
平岩外四 東京電力相談役	三枝佐枝子 商品科学研究所理事
本野盛幸 野村證券常任顧問	三枝成彰 作曲家
山崎富治 山種美術財団理事長	杉山駒吉 I&S取締役相談役
監事	高橋昌也 銀座セゾン劇場芸術総監督
伊藤醇 中央監査法人代表社員・公認会計士	園伊玖磨 作曲家・日本芸術院会員
堤麻子	遠山一行 音楽評論家
原後山治 弁護士	中原佑介 美術評論家
評議員	中村雄二郎 明治大学法学部教授・哲学者
阿部良雄 上智大学文学部教授・仏文学者	西村恭子 京都府公安委員
朝倉撰 舞台テレビ美術家協会副会長・OISTAT会長・舞台美術家	野村喬 演劇評論家
伊夫伎一雄 東京三菱銀行相談役	水落潔 演劇評論家
生野重夫 セゾン生命保険取締役相談役	宮本保孝 全国信用金庫連合会理事長
石井ふく子 日本演劇協会理事・演劇テレビプロデューサー	山口勝弘 神戸芸術工科大学教授・メディアアーティスト
一柳慧 作曲家・ピアニスト	山崎正和 東亜大学大学院教授・評論家・劇作家
宇佐美昭次 セゾン劇場社長	

# Board of Directors and Trustees

as of June 1, 1996  
in alphabetical order

## CHAIRMAN

**Seiji Tsutsumi**  
Chairman, Saison Corporation

## MANAGING DIRECTORS

**Shigeo Ikuno**  
Director & Advisor, Saison Life Insurance Co., Ltd.

**Chuei Yagi**  
Director, Cultural Section, Saison Corporation

## DIRECTORS

**Nobuya Hagura**  
Senior Adviser, The Dai-Ichi Kangyo Bank, Ltd.

**Gaishi Hiraiwa**  
Counselor, The Tokyo Electric Power Co., Inc.

**Rokuro Ishikawa**  
Chairman, Kajima Co.

**Toshio Kawatake**  
Chairman, Japanese Association for Theatre Arts

**Hiroshi Kida**  
President, The New National Theatre Foundation

**Moriyuki Motono**  
Adviser to the Board, The Nomura Securities Co., Ltd.

**Michio Nagai**  
Chairman, The International House of Japan, Inc.

**Masako Shirasu**  
Novelist/ Essayist

**Tomiji Yamazaki**  
Chairman, Yamatane Art Foundation

## AUDITORS

**Sanji Harago**  
Attorney

**Jun Ito**  
Managing Partner, Chuo Audit Co./ Certified Public Accountant

**Asako Tsutsumi**

## TRUSTEES

**Yoshio Abe**  
Professor, Faculty of Literature, Sophia University

**Setsu Asakura**  
Vice President, JATEI/ Chairwoman, OISTAT/ Theatre Designer

**Ikuma Dan**  
Composer/ Member of the Art Academy of Japan

**Keisuke Egashira**  
President, J. Osawa & Co., Ltd.

**Shigeru Goto**  
President, Family Mart Co., Ltd.

**Kazuo Ibuki**  
Chairman, Bank of Tokyo-Mitsubishi, Ltd.

**Toshi Ichiyanagi**  
Composer/ Pianist

## Shigeo Ikuno

Director & Advisor, Saison Life Insurance Co., Ltd.

## Fukuko Ishii

Director, Japanese Association for Theatre Arts

## Mikio Kawaguchi

President, Japan Broadcasting Corporation

## Hiroshi Kawakami

Chairman, Yamaha Resort Co., Ltd.

## Ken'ichi Kinokuni

Director & Advisor, Kunitachi Gakuen Educational Foundation

## Kazuo Kinumura

Vice President, Tokyo Metropolitan Television Broadcasting Corporation

## Kazuko Koike

Professor, Musashino Art University

## Michitaka Kondo

Representative Director of the Board, Hakuhodo Inc.

## Yasutaka Miyamoto

President, The Zenshinen Bank

## Kiyoshi Mizoochi

Theatre Critic

## Yusuke Nakahara

Art Critic

## Yujiro Nakamura

Professor, Faculty of Law, Meiji University/ Philosopher

## Yasuko Nishimura

Kyoto Prefectural Public Safety Commissioner

## Takashi Nomura

Theatre Critic

## Yushi Odashima

Director-General, Tokyo Metropolitan Art Space

## Shigeaki Saegusa

Composer

## Saeko Saigusa

Director, Consumer-Goods Research Institute

## Toshihiko Saji

President, SS Communications, Inc.

## Bunichiro Sano

Director-General, Tokyo National Museum

## Komakichi Sugiyama

Adviser, I&S Corporation

## Masaya Takahashi

Artistic Director, Ginza Saison Theatre

## Kazuyuki Toyama

Music Critic

## Hiroshi Ueki

Director, The National Museum of Modern Art, Tokyo

## Shoji Usami

President, Saison Theatre, Ltd.

## Katsuhiro Yamaguchi

Professor, Kobe Design University/ Media Artist

## Masakazu Yamazaki

Professor, Graduate School, East Asia University/ Critic/ Playwright

セゾン文化財団では、現代演劇・舞踊助成への申請を募集しています。

1998年度助成の対象となるのは、1998年6月から1999年3月までの間に行われる活動です。募集要項および申請書は1997年11月より配布いたします。ご希望の方は下記事務局までご請求ください。

お問い合わせ:

財団法人セゾン文化財団 事務局

〒104

東京都中央区京橋1-6-13

アサコ京橋ビル5F

TEL: 03(3535)5566

FAX: 03(3535)5565

セゾン文化財団申請受付 関西窓口

〒532

大阪府大阪市淀川区西中島5-10-15

セゾングループ 関西文化担当内

TEL: 06(305)7446

FAX: 06(305)9481

Application Information for Contemporary Theater and Dance Grants

Grants for 1998 will be made for projects scheduled to take place at any point during the year from June 1, 1998 to March 31, 1999.

Application guidelines and forms will be available from November 1997. Please make inquiries to:

THE SAISON FOUNDATION

1-6-13 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104

TEL: 03(3535)5566

FAX: 03(3535)5565

Applications are also accepted at the following office:

SAISON GROUP, Cultural Affairs Bureau, Kansai office

5-10-15 Nishinakajima, Yodogawa-ku, Osaka-shi, Osaka 532

TEL: 06(305)7446

FAX: 06(305)9481

セゾン文化財団

設立年月日:1987年7月13日

主務官庁:文化庁

基本財産:6,754,915,150円(1997年3月31日現在)

事務局

事務局長:

片山正夫

事業部:

久野敦子

福富達夫

稻石奈津子

河野朋子

管理部:

坂上孝男

1996年度 事業報告書

1997年10月発行

財団法人セゾン文化財団

〒104

東京都中央区京橋1-6-13アサコ京橋ビル5F

TEL: 03(3535)5566 FAX: 03(3535)5565

印刷 株式会社アポロ社

THE SAISON FOUNDATION

Date of Establishment: July 13, 1987

Authorized by the Agency for Cultural Affairs

Funds: ¥ 6,754,915,150 (as of March 31, 1997)

STAFF

Director:

Masao Katayama

Program:

Atsuko Hisano (Program Director)

Tatsuo Fukutomi (Program Officer)

Natsuko Inaishi (Program Officer)

Tomoko Kono (Program Officer)

Administrative:

Takao Sakagami (Financial Manager)

ANNUAL REPORT 1996

October 1997

THE SAISON FOUNDATION

1-6-13 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104 Japan

TEL: 03(3535)5566 FAX: 03(3535)5565

Printing: Apollo-sha Co., Ltd.

Cover photo:

"The Night of the Galaxy Train"

directed by Osamu Matsumoto (MODE)

photo by Katsumi Takahashi



